

米国 I S M製造業景気指数 (12年 8月)

発表日：2012年9月4日 (火)

～世界経済減速の影響により3ヵ月連続で50を下回ったものの軽微な調整～

第一生命経済研究所 経済調査部

主任エコノミスト 桂畑 誠治

03-5221-5001

I S M製造業景気指数 は49.6と前月比0.2% ポイント低下

8月のI S M製造業景気指数は、49.6と市場予想の50への改善に反し、前月比0.2%ポイント低下した。拡大縮小の分岐点である50を3ヵ月連続で下回っており、製造業部門の縮小が確認された。欧州債務問題等による世界経済減速の影響を受け、生産、新規受注の落ち込みが大きくなった。ただし、I S M製造業景気指数の49.6という結果は、基準となる50を小幅下回る程度であるほか、米経済がリセッション時の水準である42.6を大幅に上回っていることから、経済活動の調整は軽微なものにとどまっている。

総合指数への構成項目別の寄与度をみると、在庫（前月比+0.8%ポイント）、入荷遅延（前月比+0.1%ポイント）が押し上げ寄与となった一方、生産（前月比▲0.8%ポイント）、新規受注（前月比▲0.2%ポイント）、雇用（前月比▲0.1%ポイント）が押し下げ寄与となり、総合指数は前月比▲0.2%ポイント低下した。

I S M (the Institute for Supply Management) の推移

	総合	新規受注	生産	雇用	在庫	入荷遅延	受注残	仕入価格	輸出受注	輸入
11/09	52.5	51.1	52.5	55.2	52.0	51.6	41.5	56.0	53.5	54.5
11/10	51.8	53.4	52.7	54.0	46.5	52.2	47.5	41.0	50.0	49.5
11/11	52.2	55.0	55.7	52.4	46.5	51.3	45.0	45.0	52.0	49.0
11/12	53.1	54.8	58.9	54.8	45.5	51.5	48.0	47.5	53.0	54.0
12/01	54.1	57.6	55.7	54.3	49.5	53.6	52.5	55.5	55.0	52.5
12/02	52.4	54.9	55.3	53.2	49.5	49.0	52.0	61.5	59.5	54.0
12/03	53.4	54.5	58.3	56.1	50.0	48.0	52.5	61.0	54.0	53.5
12/04	54.8	58.2	61.0	57.3	48.5	49.2	49.5	61.0	59.0	53.5
12/05	53.5	60.1	55.6	56.9	46.0	48.7	47.0	47.5	53.5	53.5
12/06	49.7	47.8	51.0	56.6	44.0	48.9	44.5	37.0	47.5	53.5
12/07	49.8	48.0	51.3	52.0	49.0	48.7	43.0	39.5	46.5	50.5
12/08	49.6	47.1	47.2	51.6	53.0	49.3	42.5	54.0	47.0	49.0

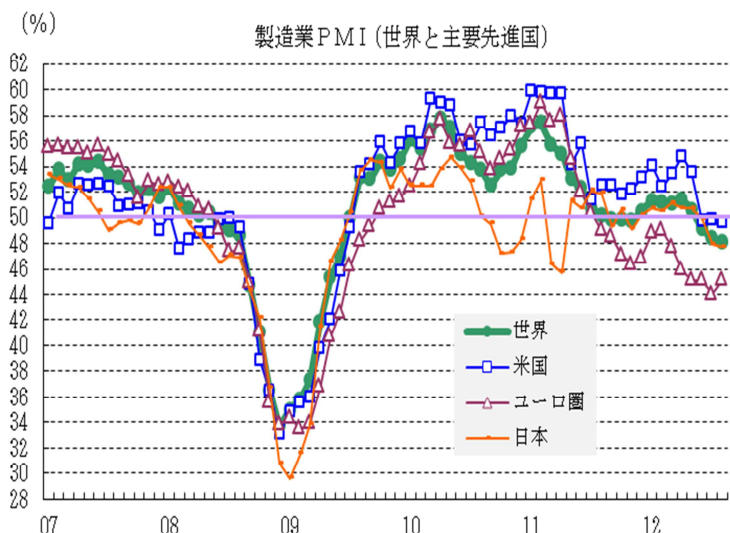
拡大した業種は8業種 にとどまっている

活動が拡大した業種数は全18業種中8業種（前月7業種）にとどまり、縮小した業種も8業種となった。印刷・同サービス、一次金属、食品・飲料・タバコ、石油・石炭、アパレル・皮革・関連製品、紙製品、化学、その他製造業。特に、新規受注、生産では拡大した業種数がともに4業種にとどまった。新規受注で拡大した4業種（11業種が縮小）は、アパレル・皮革・関連製品、印刷・同サービス、一次金属、食品・飲料・タバコ。生産で拡大した4業種（7業種が縮小）は、印刷・同サービス、一次金属、コンピューター・電子製品、紙製品。

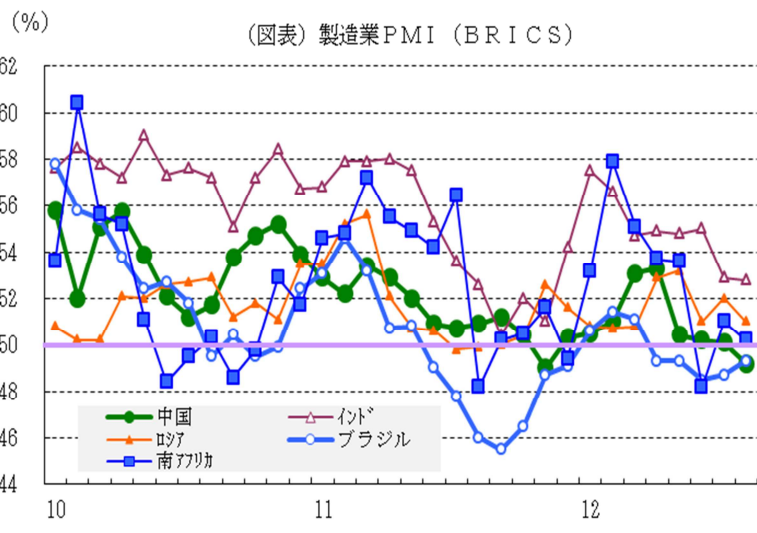
(注) 下線は拡大を続けた業種

8月の世界の製造業PMIは48.1に悪化

8月の世界製造業PMIも48.1（前月48.4）と前月から悪化し、3ヵ月連続の50割れとなっており、欧州債務問題などによって、グローバルに製造業部門の調整圧力が強まっていることが示された。欧州や日本など先進国の悪化に加えて、一部新興国も低下した。50を下回った国は、米国、日本、ユーロ圏、英国、スウェーデン、チェコ、ハンガリー、豪州、韓国、台湾、ブラジル、中国（中小企業中心）、中国（国有企業中心）など。一方、50以上は、デンマーク、インド、ロシア、南アフリカ、トルコなど限られた。



(出所) ISM、Markit Economics

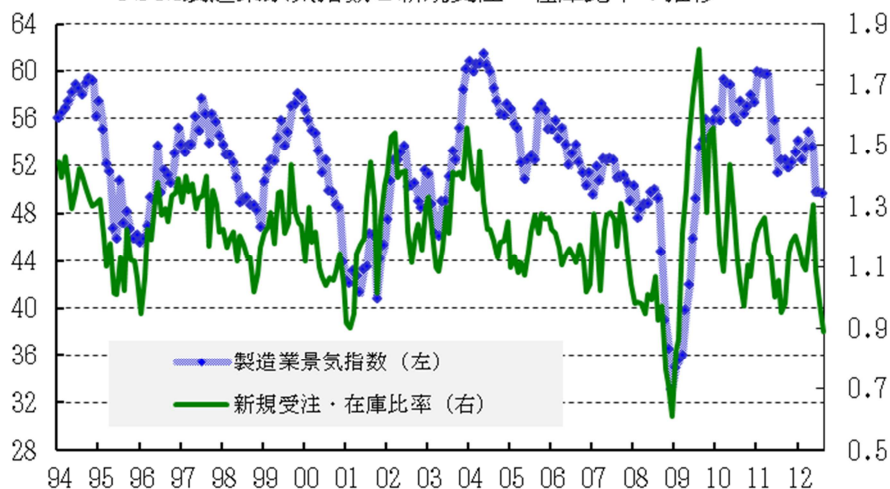


(出所) Markit

ISM製造業景気指数は短期的な調整後、拡大を示す水準に

今後に関しては、米国企業が過剰な在庫や雇用を抱えていないほかことや、緩やかながらも米国内需要の成長持続など下支え要因があるものの、欧州債務問題による世界経済減速の影響を受けると予想される。トレンドの変化に先行する新規受注・在庫比率が大幅に低下し、低い水準となっていることから、ISM製造業景気指数は今後数ヵ月調整すると予想される。しかし、その後金融緩和などによる世界景気の底打ちを受け、製造業部門の拡大を示す水準に回復すると見込まれる。

ISM製造業景気指数と新規受注・在庫比率の推移



(出所) ISM

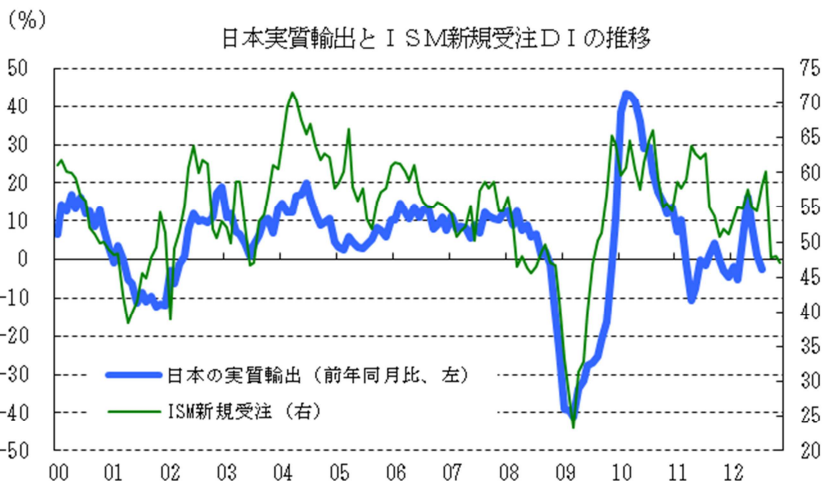
本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

輸出の拡大ペース鈍化を示唆

輸出受注D Iは、8月に47.0と前月比0.5%ポイント上昇したが、50を下回ったままだ。欧州、中国、日本、英国、韓国、台湾など製造業部門の縮小、世界経済の減速により、今後米国の輸出が前年比ベースで減少に転じる可能性が高まっている。オバマ政権による5年で輸出倍増計画の達成に黄色信号が点灯している。

各国の米国向け輸出の増加ペースは急激に減速する可能性

輸入D Iは、8月に49.0と前月比1.5%ポイント低下し、50を8ヶ月ぶりに下回った。これは輸入の増加ペースが鈍化することを示唆している。また、新規受注D Iが47.1と前月から0.9%ポイント低下し、50を下回っていることから、日本など先進国のほか、BRICS等の新興国の米国向け輸出の拡大ペースは急激に鈍化する可能性が高い。

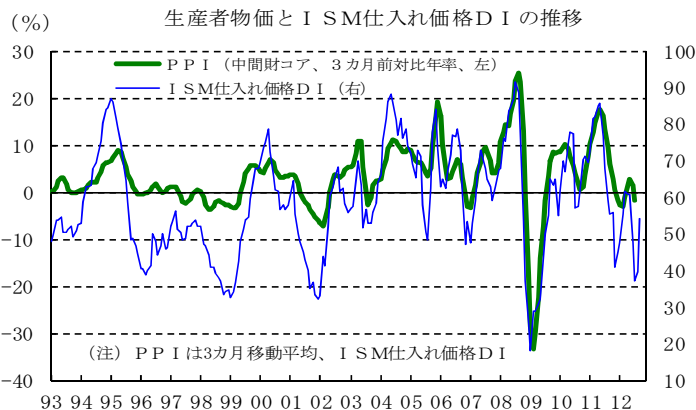
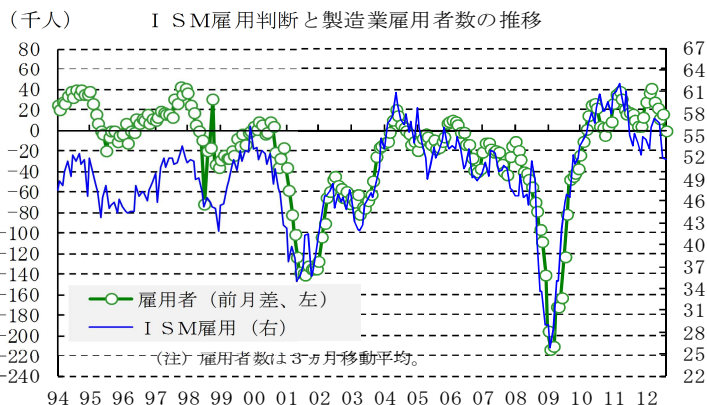


雇用DIは51.6と製造業雇用の増加ペース鈍化を示唆

雇用D Iは、51.6と50を上回っているものの、前月比0.4%ポイント低下したことから、製造業部門の雇用者数の増加幅縮小を示している。米国経済や政策の先行き不透明感、価格競争の激化によるコスト削減圧力の強まりを背景に、製造業部門での雇用の回復ペースは鈍化している。

仕入価格DIは54.0と急上昇し川中でのインフレ圧力の低下に歯止め

仕入価格D Iは、54.0と前月比14.5%ポイントと大幅に上昇し、川中でのインフレ圧力低下に歯止めがかかることを示唆している。ただし、水準は低い川中でのインフレ圧力は弱いままである。



本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。